

Lidar テスト用データ&フィールドについて

(レーザー等による森林調査機器開発事業者向け)

関東森林管理局 森林技術・支援センターでは、試験地を長期に亘り定期的に調査を行っています。試験地調査は、通常の収穫調査より詳細に、同じ方法で継続して行う必要があるため、

- 樹木の太さは、ペンキ等でマーキングした同じ計測箇所を、スチールメジャーを用いて、胸高周囲長をミリ単位で計測しています。
- 樹高は、比較的低いものは測樹ポールを用いてセンチ単位、比較的高いものはバーテックス等の超音波樹高測定器（又は光波）を用いて、10cm 単位で計測しています。

現在、森林調査においても、様々なレーザー調査機器が登場しておりますが、当センターの詳細アナログ森林調査データと比較し、レーザー計測等の結果の検証に利用してみませんか。

(注意) ただし、データ利用はレーザー計測等の結果の検証のみとし、森林・林業に関する論文発表には使用できません。

関東森林管理局 森林技術・支援センター
Email : ks_kasama_postmaster@maff.go.jp
電話 : 0296-72-1146



(テストフィールド試験地例：筑波山試験地 (モザイク林))

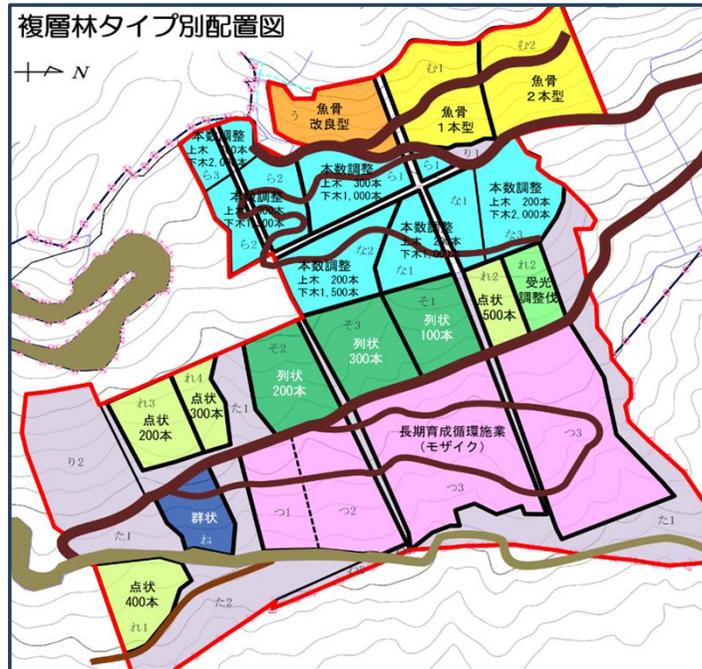


写真は、令和5年度に間伐を行った「筑波山試験地」モザイク林2段目43年生ヒノキ林。当センターで間伐前後の林内をOWLで計測した際に、雑灌木を刈払。

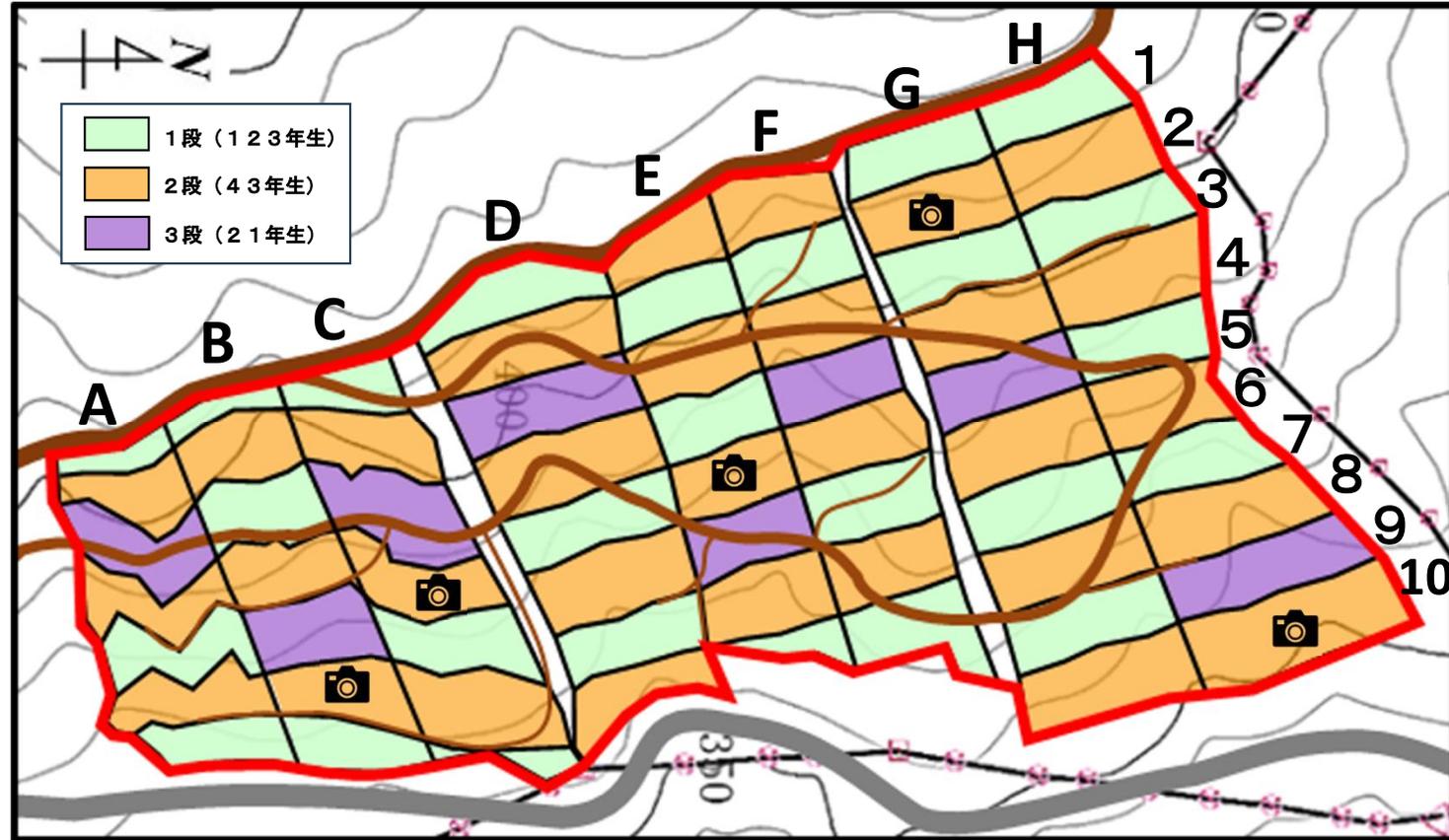
(撮影：令和6年4月)

筑波山試験地(複層林・モザイク林)360度映像ツアー

計31プロットについて、間伐前後にOWL計測 (前:令和5年4~6月、後:令和6年2月)



<https://r07263881.theta360.biz/t/6bb595fe-c3fa-11ee-9d19-0a7fdda087bb-1>



<https://r07263881.theta360.biz/t/8fe5864a-cf90-11ee-a62f-0a8a3e894413-1>